

日本線虫学会第 22 回大会

会期 2014 年 9 月 16 日（火）～18 日（木）

会場 大会：文部科学省研究交流センター

住所：〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-5

（TX つくば駅・つくばセンターから南へ徒歩 20 分）

TEL：029-851-1331 FAX：029-856-0464

懇親会：つくば国際会議場内レストラン「エスポワール」

TEL：029-850-3266

9 月 16 日（火）	13:30－15:00	一般講演（口頭発表）
	15:00－16:00	一般講演（ポスター発表）
	16:00－17:00	総会
	18:00－20:00	懇親会
9 月 17 日（水）	9:30－11:45	一般講演（口頭発表）
	13:00－14:00	一般講演（口頭発表）
	14:00－15:00	一般講演（ポスター発表）
	15:00－17:00	若手研究者企画 「学生や若手研究者が線虫で研究 を楽しむために」
9 月 18 日（木）	9:30－11:00	一般講演（口頭発表）
	11:00－12:00	大会企画「新しい線虫教育用映像 資料を作ろう」

第 22 回大会事務局

（独）農業環境技術研究所 生物生態機能研究領域

〒305-8604 茨城県つくば市観音台 3-1-3

TEL 029-838-8269 FAX 029-838-8819

arachis*affrc.go.jp （送付の際は*を@に変更して下さい）

大会プログラム

9月16日(水)

【一般講演(口頭発表)】 13:30-15:00

(座長: 水久保隆之)

13:30-13:45 O-1 ○久恒和雅¹・高木素紀¹・豊田剛己²・鹿島哲郎¹ (¹茨城農総セ園研・²東京農工大学) 茨城県のレンコン田におけるレンコンネモグリセンチュウ *Hirschmanniella diversa* に対する太陽熱土壌消毒の防除効果

13:45-14:00 O-2 ○植松繁^{1,2}・高原浩之²・栗原孝行²・藪哲男¹・古賀博則² (¹石川農林総研・²石川県立大学) レンコン組織内に侵入したレンコンネモグリセンチュウ *Hirschmanniella diversa* の光顕および電顕観察

(座長: 奈良部 孝)

14:00-14:15 O-3 ○関本茂行・植原健人・水久保隆之(中央農研) 日本国内のタケ類に寄生する『タケシストセンチュウ』の正体

14:15-14:30 O-4 ○小野寺鶴将¹・古川勝弘¹・伊藤 舞²・真鍋照彦² (¹道総研北見農試・²網走農改) ジャガイモシストセンチュウ土壌検診のためのサンプリング法

14:30-14:45 O-5 ○相場 聡(北海道農研) ボトル状容器を用いたダイズシストセンチュウ寄生性判別手法の検討

(休憩 14:45-15:00)

【ポスター発表】 15:00-16:00

15:00-15:30 奇数番号コアタイム

P-1 ○岩堀英晶¹・荒川祐介¹・上杉謙太¹・立石 靖²・吉田睦浩¹ (¹九州沖縄農研・²農林水産技会) 夏期湛水による線虫密度低減および作物の増収効果

P-2 ○伊藤大輔^{1,2)}・豊田剛己¹・加藤雅之³・森 久夫³・岡田 繁⁴・福地 峻⁴・日比谷利夫⁴・松本裕太⁴・吉田 保⁵・臼倉進一⁶ (¹東京農工大BASE・²(株)環境管理センター・³春日部農林振興センター・⁴JAさいかつ・⁵三郷市園芸協会・⁶八潮市園芸協会) 埼玉県枝豆圃場におけるリアルタイム PCR 法を用いたダイズシストセンチュウの要防除水準の作成

- P-3 ○浴野泰甫・加藤徹朗・金子 彰・竹内祐子（京都大農）マツノザイセンチュウにおける酸化ストレス耐性
- P-4 ○菊地泰生・田中龍聖・日野明紀菜・丸山治彦（宮崎大） A high throughput method to assess parasite diversity in wild rats using 18S rDNA Illumina sequencing
- P-5 ○浅川満彦（酪農大・獣）酪農学園大学野生動物医学センターにおける寄生線虫研究概要（2011年～2014年）
- P-6 ○林正和¹・片桐千仞^{1,2}・泉洋平³・村勢則郎¹（¹ 東京電機大・² 株式会社数理設計研・³ 島根大）南極線虫 *Panagrolaimus davidi* の低温耐性と脂質
- P-7 ○北上雄大¹・竹内祐子²・松田陽介¹（¹ 三重大生資・² 京都大院農）海岸クロマツ林の砂壤土に生息する線虫群集
- P-8 ○Kanzaki, N.¹, Tanaka, R.^{2,3} and Woodruff, G. C. ¹（¹ FFPRI, ² Miyazaki Univ.,³ JSPS Postdoc Fellow.）*Teratodiplogaster* sp. isolated from syconia of *Ficus variegata* from Ishigaki and Iriomote Islands
- P-9 ○Nurul Karim・田中龍聖・前田安信・菊地泰生（宮崎大）Genome-wide RNA-Seq analysis of anhydrobiotic nematode, *Aphelenchus avenae*

【総会】 16:00—17:00

【懇親会】 18:00—20:00

会場：つくば国際会議場内レストラン「エスポワール」

9月17日（水）

【一般講演（口頭発表）】 9:30—11:45

（座長：神崎菜摘）

- 9:30—9:45 O-6 Claudia S.L. Vicente^{1,2}・Keisuke Soga¹・Ryoji Shinya^{1,3,4}・Mota Manuel²・Koichi Hasegawa¹（¹ Chubu Univ.・² Univ. Évora・³ Caltech・⁴ JSPS Research Fellow）Lack of the function for oxidative stress response in the pine wood nematode *Bursaphelenchus xylophilus* low virulent strain
- 9:45—10:00 O-7 ○Ryoji Shinya^{1,2}・Koichi Hasegawa²・Anthony Chen¹・Natsumi Kanzaki³・Paul W Sternberg¹（¹ HHMI and California Institute of Technology・² Chubu Univ.・³ FFPRI）The genetics of the hermaphroditic nematode *Bursaphelenchus okinawaensis*
- 10:00—10:15 O-8 ○田中 克¹・田中龍聖^{2,3,4}・菊地泰生²・竹内祐子¹（¹ 京都大院農・² 宮崎大医・³ 日本学術振興会・⁴ マックスプランク研）

RNA-seq 法を用いたマツノザイセンチュウ増殖型各ステージの網羅的遺伝子発現解析

(座長：菊地泰生)

- 10:15－10:30 O-9 ○Kazuki Sato^{1,2}・Kaname Tsutsumiuchi³・Ami Shibata³・Toyoshi Yoshiga^{1,2}・Koichi Hasegawa³ (¹ Saga Univ.・² Kagoshima Univ.・³Chubu Univ.) Bacterial counterattack: *Photorhabdus luminescens* TT01 suppresses *Caenorhabditis elegans* defense response via insulin signal pathway
- 10:30－10:45 O-10 ○奥村悦子¹・小澤理香²・吉賀豊司³・竹内祐子¹ (¹京大院農、²京大生態研、³佐大農) 4 つの宿主体表化学物質に対する便乗線虫 *Caenorhabditis japonica* の誘引反応
- 10:45－11:00 O-11 ○吉田睦浩・市瀬克也・岡田吉弘・境 哲文 (九州沖縄農研) カンショ圃場に施用した *Heterorhabditis indica* のイモゾウムシに対する野外感染形態

(休憩 11:00－11:15)

(座長：ガスパード, ジェロム)

- 11:15－11:30 O-12 ○McGawley, E.C.¹ and Y. Takeuchi² (¹LSU AgCenter, LA USA, ²Kyoto University) Variation in reproduction and pathogenicity of geographic isolates of *Rotylenchulus reniformis* in America on cotton and soybean.
- 11:30－11:45 O-13 ○Kawanobe, M.^{1,2}, Miyamaru, N.³, Yoshida, K.⁴, Toyota, K.¹ (¹ Tokyo Univ. of Agri. & Tech., ² Agri-RAND, ³ Okinawa Pref. Agri. Res. Cent., ⁴ Okinawa Agri. Tech. & Dev. Co. Ltd) Development of a generic real-time PCR approach of plant-parasitic nematodes in Okinawa using benchmark nematodes

(昼食休憩 11:45－13:00)

【一般講演 (口頭発表)】 13:00－13:45

(座長：荒城雅昭)

- 13:00－13:15 O-14 ○澤 進一郎・西山英孝・黒田 凌・有田哲矢・中上 知・石田喬志 (熊本大学) ネコブセンチュウの誘引物質の解析

13:15－13:30 **Q-15** ○工藤光子¹・澤 進一郎²・西谷和彦³ (¹立教大学・²熊本大学・³東北大学) ネコブセンチュウの教育普及コンテンツ制作『クイズ ネコブ 48－細胞壁を舞台にしたセンチュウアイドルへの道』

13:30－13:45 **Q-16** ○Sota Ozawa¹・Keiichi Nakano²・Philip G. Koehler³・Koichi Hasegawa¹ (¹Chubu Univ.・²Minato City・³Univ. Florida) Does the smokybrown cockroach *Periplaneta fuliginosa* spread the parasitic nematode to the world?

【ポスター発表；P-1－P-9】 14:00－15:00

14:00－14:30 偶数番号コアタイム

【若手研究者企画（講演会）】 15:00－17:00

「学生や若手研究者が線虫で研究を楽しむために」

9月18日（木）

【一般講演（口頭発表）】 9:30－10:45

（座長：串田篤彦）

9:30－9:45 **Q-17** ○水久保隆之・植原健人・関本茂行（中央農研）クマリン（フェニルプロパノイド）の静線虫活性の3属線虫間比較

9:45－10:00 **Q-18** ○星野 滋¹・野田崇啓²・日高靖之²・伊與田浩志³・中村 透⁴ (¹広島総研農技セ・²生研センター・³大阪市立大学・⁴(株)山本製作所) 過熱水蒸気を利用した水稻種子消毒装置3号機のイネシンガレセンチュウに対する殺線虫効果

（座長：上杉謙太）

10:00－10:15 **Q-19** ○串田篤彦（北農研）エンバク野生種のキタネグサレセンチュウ防除効果におよぼす雑草生育の影響とリスク回避策

10:15－10:30 **Q-20** ○荒城雅昭（(独)農環研）大型ポット試験による耕起・不耕起，作物栽培など圃場管理方法が土壤線虫相に及ぼす影響の解明－耕起・不耕起の影響

10:30－10:45 **Q-21** ○秋庭満輝・神崎菜摘（森林総研）白神地域におけるブナ天然林とスギ林との土壤線虫群集の比較

【大会企画】 11:00－12:00

「新しい線虫教育用映像資料を作ろう」